

第4回 福祉フェスタ in さくら

2011年3月11日、大川小学校では多くの子どもと先生の命が一瞬にして失われました。
あの時、大川小学校の校庭で何が起きたのか。

講師の佐藤先生が教員として、子どもたちに向き合い、取り組まれてきた心のケアや防災教育についてのお話をいただき、参加者の皆さまと共に考えていきたいと思っております。

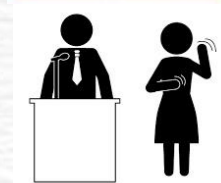
平成30年9月2日(日)

午後1時30分～ (午後1時開場)

入場
無料

喜連川公民館ホール

手話通訳有



演題 「3.11を学びに変える」



スマートサバイバープロジェクト
特別講師 佐藤敏郎 氏

震災当時は女川第一中学校(現・女川中学校)に勤務。
震災後5月には生徒たちそれぞれの想いを五七五に込める
俳句づくりの授業を行い、テレビ、新聞、書籍等で紹介される。
震災では当時大川小学校6年の次女が犠牲に。現在は遺族らと
「小さな命の意味を考える会」を立ち上げ、全国の防災イベント
で講演等を行う。



現在の大川小学校
(平成29年撮影)

主催：社会福祉法人さくら市社会福祉協議会 (☎ 682-2217)

※ 当日来場された方には、「小さな命の意味を考える」の冊子を配布いたします。